

15号

2016年
12月1日

新小山市市民病院だより

目次

- 理事長挨拶 01
- 新任医師からのご挨拶 02
- 病院ふれあい祭り 03
- 各部署の紹介・お知らせ 04

第2幕 独法化の本丸に迫る

新小山市市民病院は、平成25年に地方独立行政法人に移行し、4年間の中期計画のもと病院改革・経営改善に取り組み、且つ新病院建設・移転を果たしました。平成29年度からは新たに市から提案される中期目標に向かって、第2期中期計画が始まります。

現在、日本社会は100歳以上の高齢者が6万人を突破し、今世紀半ばには60万人にもなろうとしています。このままでは、現役世代の負担が限界に達するので、医療・介護体制の抜本的な再編が不可避となっています。具体的には、同じく高齢社会を迎えた先進諸国に比べて供給過剰な我が国の病床(急性・慢性期)を減らし、在宅医療・介護を充実させる方向です。本県においても、「地域医療構想」が既に策定されていますが、総論的に病床の種類ごとの大まかな必要数を算出しただけで、実際にどの病院・施設がどのような役割を担うかについては、全く手探りの状態です。

新小山市市民病院に対する地域のニーズは、「地域完結型医療」、その中でも「地域密着型の急性期中核病院」としての役割を果たすことであります。次期中期計画では、それを実現するための院内・院外の体制作りに取り組みます。

院内においては、本院の全ての職員は、「患者さんのことを第一に考え、1分でも長く患者さんと接する」ことを行動原理とします。そして、職員が働き甲斐を感じられるようワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の両立)を追求します。現実と目標のギャップを埋めるのがカイゼン(改善)です。従来業務を全面的に見直し、「業務改革」を断行します。

院外においては、小山市近郊の14病院によって構成する連携協議会を発足させて、各施設の医師、看護師、医療技術職、社会福祉士、事務職など多職種が顔を合わせて交流します。そして地域全体の医療資源を総動員して、個々の患者さんごとに最適な医療やケアが実施できる体制を目指します。

この4年間の独法化第1幕で、本院職員の間には「意識の変革」が芽生えました。第2幕「独法化の本丸に迫る」準備が整ったと言えます。私たち市民病院は、市民の皆様にもっと信頼され、愛される病院を目指して、最高の患者サービスを提供することに全力を尽くします。

平成28年 12月

新小山市市民病院 理事長・病院長 島田和幸

TOPIC

ミニ健康講座(動画)のご紹介

1月から行政テレビ(テレビ小山放送)で放送されておりました当院医師によるミニ健康講座の動画を当院公式ホームページ内に順次掲載しております。脳卒中やがん、心疾患などの予防や治療について分かりやすく説明させていただきますので、ぜひご覧ください。

URL:<http://hospital-shinoyama.jp/about/movie/>



**医師・
看護職員を
募集しています。**

私たちと一緒に
働きませんか

院内保育所も整備されています。
ご連絡をお待ちしております。

① 医師募集

地域医療に興味のある方、
そろそろ地元に戻ろうとお考
えの方はぜひ一度お問い合わせ
ください。

② 看護職員

平成28年度第4回採用試験
試験日:2月22日(水)
対象者:看護師
応募期間:
12月1日(木)~2月3日(金)
採用日:平成29年4月1日

③ 看護補助者【リーダー】 (正職員)

募集人数:7名
応募資格:介護福祉士の資格
を有する方

④ 看護師・看護補助者 (臨時職員)

急募中です!!
※夜勤の出来る方は、正規職員へ
の道あり。

⑤ 薬剤師(臨時職員)

※各職、詳細につきましては
下記までお問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

人事課 ☎36-0285

地方独立行政法人
新小山市市民病院

〒323-0827
栃木県小山市神鳥谷2251番地1

☎0285-36-0200 (代表)

↑ <http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト <http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

↑ <https://www.facebook.com/shinoyama.city.hospital>



新任医師からのご挨拶

泌尿器科 副部長 中野 一彦

平成28年10月より、自治医科大学泌尿器科より新小山市民病院に赴任しました中野一彦です。以前の小山市民病院に非常勤医師として勤務していたことがありますが、新病院は大変きれいに生まれ変わっており、皆様同様感動しているところです。

トイレが近い、尿が出にくいなどの症状でお困りの方や、最近増えている前立腺癌を心配されている方は、遠慮なく泌尿器科を受診下さい。受診するのに少し抵抗がある診療科かもしれませんが、積極的に診療に当たらせて頂きます。

皆様の尿や性器に関わる症状やお悩みを少しでも改善できましたらと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

内科・総合診療科 医員 鈴木 紘史

初めまして。平成28年10月より新小山市民病院内科・総合診療科に着任いたしました鈴木紘史（ひろふみ）と申します。

これまでは自治医科大学附属病院の総合診療内科で診療をしてきました。

総合診療科というのは、本当に様々な訴えて患者さんが受診して来られます。こういった症状があるのだけれど、どの診療科を受診していいのかわからない・・・といった相談にも乗っています。

自分も現在小山市在住であり、小山市民の皆さんをはじめとした地域の皆さんの訴えに、親身になって耳を傾けていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

整形外科 副部長 高田 尚

平成28年8月より新小山市民病院の整形外科に着任いたしました高田 尚（ひさし）と申します。平成8年に秋田大学を卒業し地元栃木に帰って来て自治医科大学の整形外科医局に入局し、大学および関連病院で研鑽を積んでまいりました（主に膝関節）。

整形外科医が一人増えたので今までの忙しさが少しは緩和され、紹介患者や救急対応もある程度余裕をもって対応できる！？といいのですが…まだまだ小山市をはじめ周辺地域の整形外科的なニーズ（外傷や変性疾患など）は多いと思われるので、他の整形外科医や他科の医師の皆様と連携をとりながら頑張っていきたいと思っております。

外来では大きな声で元気よく（若干栃木なまりあり）やっておりますので関節の痛みや変形などでお困りの方は火・金午前中の整形外科外来にお越しください。

眼科 部長 今泉 敦志

平成28年11月より新小山市民病院 眼科に着任いたしました今泉 敦志と申します。

これまでは非常勤医師として、水曜日に外来を担当させていただいておりました。

当院の眼科では、患者様の症状や疾病に応じて、曜日ごとの各々の専門医師によるチーム医療のシステムを取り入れ診療にあたっております。今後も、他病院や施設での医長や院長も兼任しておられる経験豊富な先生方と力を合わせて、小山市民の皆さんをはじめとした地域の皆さんのお困りごとに親身になって耳を傾け、小山市近郊の連携病院の先生方と地域連携をとりながら、私自身も成長できるようがんばっていききたいと思います。よろしくお願いいたします。

婦人科外来診療変更のお知らせ

10月から婦人科外来診療が下記の通り変更となっております。ご注意ください。

常勤医の対応

- 診療日：月曜日・火曜日・木曜日の午前中
※できるだけご予約を取り、紹介状持参の上、ご来院ください。

非常勤医の対応

- 診療日：水曜日・金曜日の午前中
※完全予約制になっておりますので、事前にご予約をしていただき、紹介状持参の上、ご来院ください。（予約センター：0285-36-0270）
なお、第1・第3金曜日は手術日のため、終日休診となりますので、ご了承ください。



ふれあい祭りが開催されました

10月16日(日)に、第5回新小山市市民病院ふれあい祭りが開催されました。今回は新病院移転後初めての開催となり、当日は秋晴れの中多くの方にご来場いただきました。新しいイベントを企画したり、会場レイアウトに悩みながら準備を進めたりと試験的な部分もありましたが、大盛況のうちに終了することが出来ました。

今後も引き続き市民の皆さんと触れ合える機会、病院を知って頂く機会を充実させ継続していきますので、よろしくお願いいたします。



『おやまだいすキッズ』によるダンスでオープニングに華を添えていただきました！



消化管内の内視鏡訓練用機器を使った内視鏡体験



小山市消防本部にご協力いただいたAED体験



そば打ち実演&試食
(協力:日清医療食品株)



新企画のウォーキングレクチャー



ミニ講演会は、小山地区医師会の先生にもご講演いただき、多くの方にご来場頂きました。



子供たちに大人気だった「手作り聴診器体験」&「塗り絵コーナー」



恒例となりました『とちぎジュニアオーケストラ』の演奏で今年のお祭りも閉幕となりました。





③ 中央施設部門

このコーナーでは、
当院の各部署の紹介をします

中央施設部門(手術室)は、安全で安楽な 周手術期医療・看護を提供しています。

中央施設部門は手術室・中央材料室を担当しています。スタッフは麻酔科常勤医2名、非常勤医11名、看護師長1名、看護副師長1名、主任看護師3名、看護師15名、看護補助者4名、看護事務1名で構成されています。

平成27年度の手術件数は2347件であり、平成28年4月～9月現在で1231件と、昨年度を上回るペースで増加しております。手術を行っている科は、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、耳鼻科、眼科、皮膚科、婦人科、形成外科と多岐にわたります。今まで4部屋しかなかった手術室は、移転後5部屋となり、毎日数多くの手術が行われています。またそのうちの1部屋が、バイオクリンルーム(空中の微細な粉塵や細菌を除去した部屋)となっており、心臓血管手術や整形外科の人工関節手術など、高度な手術ができる環境を整備しています。

4月より心臓血管手術(人工心臓を用いる開心術)が開始されました。それに伴い、昨年度より『小山ハートチーム』を発足し、医師、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、薬剤師など様々な部門と連携を図ってきました。また、平成28年4月に心臓血管手術が開始できるよう手術室看護師、臨床工学技士は自治医科大学附属病院へ半年間研修に行き、移転後、新病院においても医師によるシュミレーションを行い、手術開始までに何度も改善をして準備しました。心臓血管手術を受ける患者さんに、安全で安楽な周手術期医療・看護が提供できるよう努力しております。

中央施設部門の今年度の目標でもある「手術を受ける患者さん、家族の皆さんの気持ちに寄り添う看護を行うこと」また「チーム医療を強化し、安全で安楽な手術を提供すること」を常に頭に置き、最善の医療・看護が提供できるよう心がけています。



新小山市民病院開院1周年記念事業のご案内

新小山市民病院開院1周年を記念して「第7回小山の医療を考えるシンポジウム」を下記の通り開催いたします。皆様お誘いあわせの上、ぜひご来場下さい。

日時：平成29年1月8日(日) 午後1時～午後3時30分 **場所**：小山市立文化センター 小ホール

テーマ：【地域包括ケアシステムについて】

内容：パネルディスカッション、市民会議活動報告 他

コーディネーター：自治医科大学 地域医療学センター長 梶井 英治 先生

主催：地方独立行政法人新小山市民病院・一般社団法人小山地区医師会・小山の地域医療を考える市民会議

共催：小山市

入場料は無料、事前予約も不要です。

詳しい内容につきましては、随時ホームページ等で情報を掲載させていただきます。



年末年始の診療案内



12/29(木)～1/3(火)の6日間は外来診療(救急を除く)をお休みさせていただきます。

なお、救急外来は二次救急(入院や手術を要する重症な患者さん)を原則として受け入れております。緊急時は救急の受入状況によって診療できない場合がございますので、必ず事前に下記電話番号までお問い合わせください。

救急外来・休日夜間受付 ☎0285-36-0290

また、一次救急(入院まで至らない比較的軽症な患者さん)の場合には、まずは夜間休日急患診療所もしくは一次救急医療機関当番病院(小山市広報参照)にお問い合わせください。

※診察券(お持ちの方)・保険証・医療受給証など(お持ちの方)・

紹介状(他の医院、病院からの方)をお持ちになって、ご来院ください。

